



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年4月25日

上場会社名 株式会社エイアンドティー 上場取引所 東
 コード番号 6722 URL <http://www.aandt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三坂 成隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 新国 泰正 TEL 045-440-5810
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の業績（平成28年1月1日～平成28年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	2,755	△4.7	491	△16.9	486	△17.0	354	△3.7
27年12月期第1四半期	2,892	24.5	591	46.0	585	46.6	368	41.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	56.73	—
27年12月期第1四半期	58.89	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第1四半期	9,607	5,929	61.7	947.66
27年12月期	9,823	5,710	58.1	912.66

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 5,929百万円 27年12月期 5,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年12月期	—				
28年12月期（予想）		0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年12月期の業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,000	△1.5	510	△36.6	500	△37.0	270	△47.6	43.15
通期	10,300	1.6	920	△23.5	900	△24.0	550	△34.5	87.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	6,257,900株	27年12月期	6,257,900株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	1,091株	27年12月期	1,091株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	6,256,809株	27年12月期1Q	6,256,819株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、日銀によるマイナス金利政策が導入されましたが、新興国経済の減速、欧米経済への不安等により、円高・株安が進行し、景気は緩やかな回復基調から足踏み状態に転換しております。

国内の医療業界におきましては、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築を図るため、平成28年度の診療報酬改定案では、全体では0.84%引き下げることが決定し、8年ぶりに医療報酬マイナス改定となり、医療機関の経営にとっては厳しい内容となっております。

このような事業環境のもと、当社は、主力製品である臨床検査情報システムの新製品「CLINILAN GL-3」（以下、GL-3）を販売し、ファーストユーザーの初期導入後のサポート対応に努めてまいりました。また、検体検査自動化システムにつきましては、中小規模病院をターゲットとした新製品「CLINILOG STraS」をファーストユーザーへ導入いたしました。OEMビジネスにつきましては、既存OEM先との関係強化及びOEM製品の品質向上に注力することに加え、国内の新規OEM先を1社増やし、一部製品の販売を開始いたしました。原価低減の取り組みにつきましては、江刺・湘南の両工場を中心に改善活動に取り組み、利益率の改善に継続的に努めております。

研究開発につきましては、臨床検査情報システムGL-3の品質向上及びサブシステムの開発に加え、検体検査自動化システムの海外規制対応に注力しております。また、コア技術である電解質センサーの品質・性能強化及び海外規制に対応した開発を継続しております。新規事業につきましては、新たな事業の柱となる案件の具体化に向けた取り組みを開始しております。設備投資につきましては、生産性の向上及び安定供給体制の構築のため、当社が保有している江刺工場の敷地内の空地を活用した設備投資を検討しております。

海外展開につきましては、当社は、平成28年2月9日発表「平成27年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」P.16（重要な後発事象）に記載のとおり、関係会社である東軟安徳医療科技有限公司（以下、東軟安徳）の事業再建に向けて、当社と瀋陽東軟医療系統有限公司並びに中国の臨床検査試薬会社である威特曼生物科技（南京）有限公司の3当事者間で合弁会社を設立することに合意いたしました。現在、当該合弁会社の営業許可書を中国の登記機関へ申請しており、登記完了後、東軟安徳は当該合弁会社の完全子会社となる予定です。

当第1四半期累計期間の販売実績を製品系列別に表示すると、次のとおりであります。

区分	前第1四半期 累計期間		当第1四半期 累計期間		前年同期比	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
臨床検査機器システム	1,618,894	55.9	1,372,230	49.8	△246,664	△15.2
検体検査装置	187,539	6.5	238,092	8.6	50,552	27.0
臨床検査情報システム	1,143,673	39.5	861,325	31.3	△282,348	△24.7
検体検査自動化システム	287,681	9.9	272,812	9.9	△14,868	△5.2
臨床検査試薬	626,583	21.7	571,723	20.8	△54,860	△8.8
消耗品	433,275	15.0	446,631	16.2	13,355	3.1
その他	213,312	7.4	364,465	13.2	151,153	70.9
合計	2,892,066	100.0	2,755,051	100.0	△137,015	△4.7

①臨床検査機器システム

臨床検査機器システムにつきましては、検体検査装置のOEM販売は堅調に推移いたしました。一方、臨床検査情報システムは、前年同期において、新規大型案件の獲得が好調だった反動により、大型案件数が減少いたしました。検体検査自動化システムは前年並みに推移した結果、売上高は1,372,230千円（前年同期比15.2%減）となりました。

②臨床検査試薬

臨床検査試薬につきましては、既存OEM先の在庫調整による発注時期のズレ及び直接販売の減収等により、売上高は571,723千円（同8.8%減）となりました。

③消耗品

消耗品につきましては、OEMで販売した検体検査装置の稼働台数が増加したことで、消耗品販売も堅調に推移し、売上高は446,631千円（同3.1%増）となりました。

④その他

その他につきましては、臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの国内大型案件に付随する他社製品の販売が増加し、売上高は364,465千円（同70.9%増）となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は2,755,051千円（同4.7%減）となりました。利益面につきましては、主に臨床検査情報システム及び臨床検査試薬の減収により、売上総利益は1,331,491千円（同6.5%減）となりました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費の増加に対して、経費抑制に努め、前年並みに推移いたしました。その結果、営業利益は491,624千円（同16.9%減）、経常利益は486,268千円（同17.0%減）、四半期純利益は354,973千円（同3.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ216,476千円減少し、9,607,028千円となりました。流動資産は同204,172千円の減少、固定資産は同12,304千円の減少となりました。流動資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が609,300千円減少したことによるものです。固定資産の減少の主な要因は、減価償却によるものです。

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ435,480千円減少し、3,677,703千円となりました。流動負債は同425,399千円の減少、固定負債は同10,082千円の減少となりました。流動負債の減少の主な要因は、その他が374,991千円減少したことによるものです。固定負債の減少の主な要因は、長期借入金を返済したことによるものです。

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ219,005千円増加し、5,929,325千円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間における業績が概ね堅調に計画の範囲内で推移していることから、前回（平成28年2月9日発表「平成27年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載）の業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,122,934	1,486,338
受取手形及び売掛金	4,181,240	3,571,940
商品及び製品	429,936	595,876
仕掛品	471,592	331,290
原材料及び貯蔵品	484,966	515,121
その他	300,982	286,304
貸倒引当金	△4,181	△3,571
流動資産合計	6,987,471	6,783,299
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	598,929	585,902
土地	1,356,626	1,356,626
その他（純額）	272,018	287,585
有形固定資産合計	2,227,574	2,230,114
無形固定資産	105,517	99,978
投資その他の資産		
関係会社出資金	259,735	259,735
その他	243,204	233,900
投資その他の資産合計	502,940	493,635
固定資産合計	2,836,032	2,823,728
資産合計	9,823,504	9,607,028
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,198,495	1,108,352
短期借入金	1,360,000	1,360,000
未払法人税等	173,176	141,706
製品保証引当金	85,188	83,756
賞与引当金	7,368	80,005
その他	985,969	610,978
流動負債合計	3,810,197	3,384,798
固定負債		
長期借入金	280,000	270,000
資産除去債務	6,222	6,244
その他	16,763	16,660
固定負債合計	302,986	292,904
負債合計	4,113,183	3,677,703

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	577,610	577,610
資本剰余金	554,549	554,549
利益剰余金	4,552,567	4,782,405
自己株式	△594	△594
株主資本合計	5,684,132	5,913,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,187	15,354
評価・換算差額等合計	26,187	15,354
純資産合計	5,710,320	5,929,325
負債純資産合計	9,823,504	9,607,028

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）	当第1四半期累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日）
売上高	2,892,066	2,755,051
売上原価	1,467,841	1,423,559
売上総利益	1,424,224	1,331,491
販売費及び一般管理費	832,519	839,867
営業利益	591,704	491,624
営業外収益		
受取利息	12	9
受取保険金	—	629
その他	410	749
営業外収益合計	423	1,388
営業外費用		
支払利息	5,112	3,789
為替差損	1,352	2,663
その他	35	291
営業外費用合計	6,501	6,744
経常利益	585,627	486,268
特別損失		
関係会社出資金評価損	31,125	—
特別損失合計	31,125	—
税引前四半期純利益	554,501	486,268
法人税等	186,063	131,294
四半期純利益	368,438	354,973

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社の事業形態は、主として臨床検査に関する製品及びサービスを顧客に提供する単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。